

平成3年度大学入学者選抜

# 受験案内

## 大学入試センター試験

出願期間 平成2年10月15日(月)～10月26日(金)

試験期日 平成3年1月12日(土)・1月13日(日)

大学入試センター

## この「受験案内」を手にされた皆さんへ

大学入試センター試験は、この試験を利用する国公私立大学が大学入試センターと協力して同一の期日に同一の試験問題により、共同して実施するものです。

この試験は、大学に入学を志願する者の高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的とするものです。その成績は、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的に判定することに役立てるために、それぞれの大学がその判断と創意工夫により適正な方法で利用しようとするものです。

入学者の選抜において「大学入試センター試験」を利用することになっている大学（学部）（この冊子の54ページ以下に掲げられている。）に入学を志願する場合は、まず、「大学入試センター試験」を受験することになります。

この「受験案内」は、大学入試センター試験を受験するために必要な諸手続等を取りまとめたものです。内容をよく読み、誤りのないよう、出願してください。

なお、各大学での、大学入試センター試験の利用方法は様々で、例えば、すべての大学が利用する国公立大学でも同じではありませんし、私立大学においては、志願者に大学入試センター試験を受験するか、しないかの選択を委ねている場合もあります。

志願する各大学の学生募集要項などをよく読んで、どのように利用されるかを確認のうえ、大学入試センター試験を受験してください。

大学入試センター試験を利用する大学が、次の選抜方法を実施する場合には、大学入試センター試験の受験を免除していることがあります。各大学の学生募集要項などでもよく確認してください。

- ① 「推薦入学」の場合
- ② 帰国子女（中国引揚者等子女を含む。）、社会人又は外国人を対象として、一般の志願者と異なる選抜方法を実施する場合

## 目 次

I 志願票に記入する前に	1 出願の手順	2 ページ
	2 出願資格と出願資格を証明する書類	3 ページ
	3 検定料の納付方法	7 ページ
	4 志願票の記入方法	10 ページ
	5 出願期間と出願方法等	14 ページ

II 志願票が受理されたら	1 確認はがき	16 ページ
	2 受験票・写真票・成績請求票	17 ページ

III あらかじめよく 読んでおく	1 平成3年度大学入試センター試験実施日程	22 ページ
	2 試験期日・試験時間・追試験	23 ページ
	3 出題教科・科目等	24 ページ
	4 試験場の指定	26 ページ
	5 受験教科・科目成績の大学入試センター試験利用 大学への提供方法	28 ページ
	6 再試験の実施	29 ページ
	7 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置	30 ページ
	8 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等の 受験特別措置	31 ページ
	9 大学入試センター試験において、各選択科目間に 著しい得点差が生じた場合の取扱い	32 ページ

IV 大学入試センターへの問合せ、届出等	33 ページ
----------------------	--------

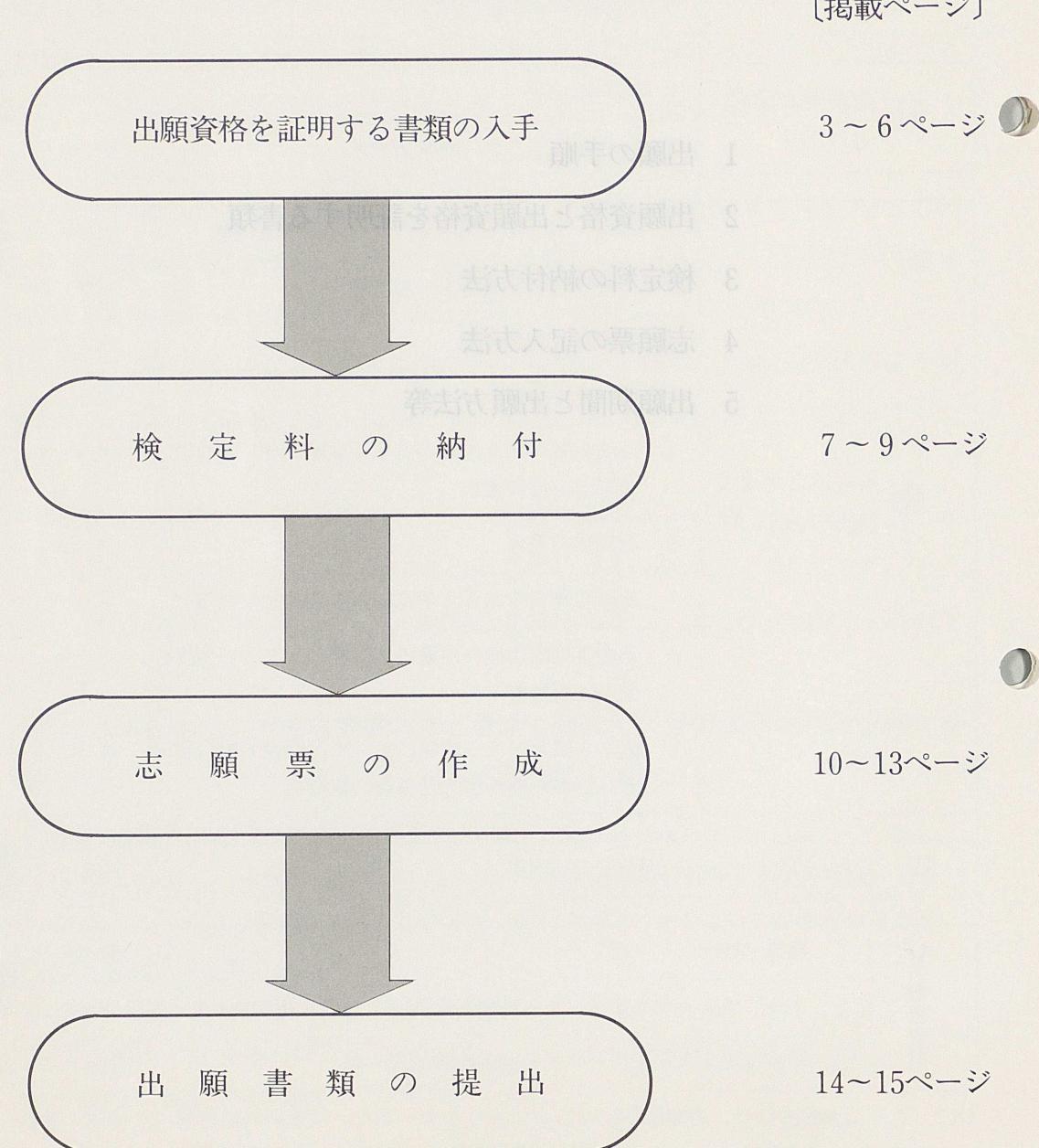
V 参考資料	1 高等学校等コード表	34 ページ
	2 平成3年度大学入試センター試験利用大学入学者選抜実施日程	53 ページ
	3 平成3年度大学入試センター試験利用大学一覧	54 ページ

（注）この受験案内には、志願票を折り込んであります。また、検定料の納付書（2種類）と封筒（個人直接出願者用）を添付しておりますので、確認してください。



## 1 出願の手順

志願票に記入する前に、まず、出願の手順について確認し、必要な手続きを行ってください。



## 2 出願資格と出願資格を証明する書類

- (1) 平成3年度大学入試センター試験に出願できる者は、大学入試センター試験を利用する大学に入学を志願する者であって、次のいずれかに該当する者です。

- ① 高等学校を卒業した者及び平成3年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成3年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

- (2) 出願資格の内訳とその出願資格を証明する書類は、次のとおりです。証明書類は、志願票に添付して提出してください。

- ① 高等学校を卒業した者及び平成3年3月卒業見込みの者

- ア 高等学校等卒業見込み者（通信制の課程を含む。）

平成3年3月高等学校（盲学校、聾学校、養護学校の高等部を含む。）を卒業見込みの者

証明書類	学校長から一括して証明されますので、志願者個人ごとに必要ありません。
------	------------------------------------

- イ 高等学校卒業者（盲学校、聾学校、養護学校の高等部を含む。）

証明書類	卒業証明書（出身高等学校長が発行するもの）
------	-----------------------

- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成3年3月修了見込みの者

- 高等専門学校第3学年修了者及び平成3年3月修了見込み者

証明書類	高等専門学校第3学年を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（高等専門学校長が発行するもの）
------	--

③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第69条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成3年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成3年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」合格者、中国引揚者等子女で大学入学のための準備教育を修了したもの等が該当する。）（昭和56年文部省告示第153号）

〔注1〕5ページ参照

証明書類	外国において学校教育の12年の課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（出身校長が発行するもの。Diplomaを複写（コピー）したものでもよい） 文部大臣の指定した者に該当するものは、当該国の検定に合格したことを証明する書類又は我が国の大学に入學するための準備教育を行う課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（当該施設又は検定試験実施機関の長が発行するもの）
------	---

イ 文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成3年3月31日までに修了見込みの者（立教英国学院、英国四天王寺学園、アルザス成城学園、英國暁星国際学園、東海大学附属デンマーク校、ブレーメン国際日本学園、帝京ロンドン学園及び駿台アイルランド国際学校の各高等部がこれに該当する。）

証明書類	在外教育施設の高等学校の課程に相当する課程を修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類（立教英国学院、英国四天王寺学園、アルザス成城学園、英國暁星国際学園、東海大学附属デンマーク校、ブレーメン国際日本学園、帝京ロンドン学園及び駿台アイルランド国際学校の学校長が発行するもの）
------	---

ウ 文部大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）〔注2〕6ページ参照

証明書類	出身学校等を卒業又は修了したこと（修了見込みであること）を証明する書類又はこれに準ずるもの（出身校長が発行するもの） 国際バカロレア資格を取得した者は、国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書（International Baccalaureate Diploma）を複写（コピー）したもの
------	--

エ 大学入学資格検定に合格した者及び平成3年3月31日までに合格見込みの者で、平成3年3月31日までに18歳に達するもの

証明書類	（ア）大学入学資格検定合格者 ・大学入学資格検定合格証書を複写（コピー）したもの 又は合格証明書 (注) 合格証明書は、文部省生涯学習局生涯学習振興課に請求し入手すること。  (イ) 平成2年度大学入学資格検定に合格見込みの者 ・平成2年度大学入学資格検定受検票を複写（コピー）したもの  (ウ) 科目合格者の単位修得による平成2年度大学入学資格検定に合格見込みの者 大学入学資格検定で既に一部の科目に合格し、残りの受検科目に相当する科目について、在学している高等学校の定時制の課程又は通信制の課程で、平成3年3月31日までに修得する見込みの者がこれに該当する。 ・大学入学資格検定科目合格通知書を複写（コピー）したもの又は平成2年度大学入学資格検定受検票を複写（コピー）したもの (注) 科目合格通知書は、文部省生涯学習局生涯学習振興課に請求し入手すること。 ・受検科目に相当する科目的単位修得見込み証明書 (注) 单位修得見込み証明書は、在学する高等学校長に請求し入手すること。  オ その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
------	---

証明書類 当該大学の学長が発行した認定書等 〔注3〕6ページ参照

〔注1〕「文部大臣の指定したもの」は、次のとおりです。証書には、必ず入学志願者本名の大字で記入されなければなりません。（例）立教大学大學生吉田智子（8枚）  
○ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、平成3年3月31日までに18歳に達するもの（大韓民国の「高等学校卒業学力検定試験」等がこれに該当する。）

- 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるもの）を含む。）に合格した者を含む。）で、表1に掲げる教育施設又は表2に掲げる施設において我が国の大學生入試センター試験では、受験する教科数によって検定料の納付金額が異なりますので、次表により十分確認して、間違いないよう納付してください。

表1

東京外国语大学外国语学部附属日本語学校
国際学友会日本語学校
関西国際学友会日本語学校
赴日留学生予備学校

表2

上欄	北海道中国帰国孤児定着促進センター、福島中国帰国孤児定着促進センター、中国帰国孤児定着促進センター、愛知中国帰国孤児定着促進センター、大阪中国帰国孤児定着促進センター、福岡中国帰国孤児定着促進センター
中欄	山形県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、高知県、福岡県、長崎県、鹿児島県の各中国帰国者自立研修センター
下欄	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県の各中国帰国者自立研修センター

[注2] 「文部大臣の指定した者」の主なものは、次のとおりです。

- 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による小学校、中学校若しくは高等学校の教諭の普通免許状を有する者又は教育職員免許法施行法（昭和24年法律第148号）によりこれらの免許状を有するものとみなされた者（旧教員免許令（明治23年勅令第134号）に基づく旧実業学校教員検定に関する規程（大正11年文部省令第4号）による実習科目に関する限りの実業学校教員免許状を有する者を除く。）
- スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で平成3年3月31日までに18歳に達するもの
- 専修学校高等課程の修業年限3年以上の課程で文部大臣が別に指定したものと文部大臣が定める日以後に修了した者及び平成3年3月修了見込みの者
- 運輸省組織令（昭和59年政令第175号）による海員学校の本科を卒業した者及び平成3年3月卒業見込みの者

[注3] この認定による大学入試センター試験受験者は、出願資格を認定された大学以外の大学への出願は認められません。

(注) 出願資格及び出願資格を証明する書類について疑問がある場合は、出願する前になるべく早く大学入試センターに照会してください。（照会先33ページ参照）

### 3 検定料の納付方法

- (1) 大学入試センター試験では、受験する教科数によって検定料の納付金額が異なりますので、次表により十分確認して、間違いないよう納付してください。

① 検定料の額	・ 3教科以上 12,000円（別記「教科・科目の数え方」） ・ 2教科以下 8,000円（について9ページ参照）
② 受験教科数別納付書の使用	・ 3教科以上を受験する場合は、納付金額12,000円の「納付書・領収証書」（3枚1組）を使用すること。 ・ 2教科以下を受験する場合は、納付金額8,000円の「納付書・領収証書」（3枚1組）を使用すること。
③ 検定料「納付書・領収証書」の記入方法	現住所、入学志願者の氏名（漢字、フリガナ）、高等学校等コード（34～52ページ参照）を黒又は青のボールペンで正確に記入すること。
④ 納付場所	・銀行等（都市銀行、地方銀行、信託銀行、信用金庫）等の日本銀行歳入代理店の窓口 ・郵便局（簡易郵便局を除く。8ページのエ参照）
⑤ 納付期間	9月3日（月）から10月26日（金）まで できるだけ早い時期に納付し、出願の準備を整えること。
⑥ 「納付書・領収証書」の受け取り及び大学入試センターへの提出	・納付場所から「納付書・領収証書」（3枚1組中の1枚目）を受け取り、領収日付印を確認すること。 ・「納付書・領収証書」を、志願票裏面の所定欄に付けて大学入試センターへ提出すること。

- (2) 検定料納付に当たっては、次の点に注意してください。

ア 検定料を父母等が払い込む場合でも、「納付書・領収証書」には、必ず入学志願者本人の氏名を記入すること。

誤って記入した場合（現住所、高等学校等コードを含む。）は、誤記入部分を二重線で消し、訂正すること。

イ 「納付書・領収証書」をはり付けた後に、志願票の記入の誤り等でやむを得ず新しい志願票に書き替えなければならない場合には、「納付書・領収証書」を志願票ごと切り取つて、新しい志願票の裏面にはり付けること。(検定料を二重に納付しないこと。)

ウ (ア) 検定料納付後、受け取った「納付書・領収証書」を紛失した場合は、大学入試センターに電話で連絡すること。  
(連絡先33ページ参照)

(イ) 誤記入、未記入のまま提出してしまった場合は、「はがき」に次の事項を明記し、速達郵便で届け出ること。  
(届出先33ページ参照)

- ① 誤記入、未記入の内容(正・誤がわかるように明記する)
- ② 氏名(フリガナ)、現住所、連絡電話番号、高等学校等コード
- ③ 「納付書・領収証書」が手元にある場合には、その納付書番号

エ 簡易郵便局とは、地方公共団体等が郵便局の窓口業務を代行しているもので、ここでは検定料の払い込み業務は取り扱っていない。

オ 検定料を納付せずに出願した場合、受理しない。

カ 検定料は、出願を受理した後は、いかなる理由があっても返還しない。

(注) 検定料を誤って二重に納付した場合、検定料を納付したが出願しなかった場合は、検定料の返還請求ができるので、大学入試センターに検定料の「納付書・領収証書」を添付して申し出てください。

## 別 記

### 教科・科目の数え方について

(1) 大学入試センター試験の出題教科・科目は、24~25ページのとおりですが、検定料との関係での教科の数え方は、次表のとおりです。

出題教科	教 科 の 数 え 方
国 語	1教科
社 会	1教科
数 学	数学(A), 数学(B)を合わせて 1教科
理 科	理科(A), 理科(B), 理科(C)を合わせて 1教科
外 国 語	1教科

(2) 3教科以上の受験として出願した場合は、受験教科数の制限はなく、24~25ページの出題教科・科目の中から、志望する大学が指定している教科・科目に合わせて自由な組合せで受験できます。

(3) 2教科以下の受験として出願した場合は、具体的に受験できる教科・科目を例示すると、次表のとおりです。

教科・科目数	組 合 わ せ の 例
1教科 1科目	「国語」
1教科 2科目	数学(A)と数学(B)
1教科 3科目	理科(A)と理科(B)と理科(C)
2教科 3科目	「国語」及び「理科(A)と理科(B)」
2教科 5科目	「数学(A)と数学(B)」及び「理科(A)と理科(B)と理科(C)」

(注) 2教科以下の受験として出願した者(検定料8,000円納付者)は、3教科以上を受験することはできません。

## 4 志願票の記入方法

### (1) 記入上の注意について

ア 入学志願者は、志願票の記入例を参照し、まず「志願票控」に記入してみて、その記入内容に誤りがないことを確認した後に、「志願票」(提出用)に記入してください。

「志願票」(提出用)の用紙は、この受験案内に折り込んであるものを、丁寧に取りはずして使用してください。

イ 黒又は青のボールペンで丁寧に記入してください。

ウ 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正してください。

### エ 「高等学校等コード」欄

(ア) 「高等学校等コード」は、34~52ページの「高等学校等コード表」により記入してください。

(イ) 高等学校等卒業者は、出身の高等学校等のコードを記入してください。

### オ 「受験教科数」欄

2教科以下を受験(検定料8,000円)する場合は、「2教科以下受験」の文字を○で囲んでください。(3教科以上受験する志願者は記入しないでください。)

出願が受理された後は、受験教科数を変更することができないので十分注意してください。  
(教科・科目の数え方について9ページ参照)

### カ 「学科」欄

高等学校卒業者及び卒業見込者は、必ず該当する文字を○で囲んでください。

### キ 「高等学校卒業者以外」欄

該当する出願資格の文字を○で囲んでください。

専修学校の高等課程の修了(見込み)者及び海員学校の本科の卒業(見込み)者は、「文部大臣の指定した者」の文字を○で囲んでください。

### ク 「現住所」欄

(ア) 高等学校等卒業見込者(通信制課程を除く。)は、「現住所」の欄は記入しないでください。

(イ) 高等学校卒業者等(通信制課程卒業見込者を含む。)は次の事項に注意し、志願票に「現住所」を必ず記入してください。

① 「現住所」は、住民登録の有無は問いませんが、確認はがき、受験票等の送付先となりますので、郵便物を確実に受領できるように正しく記入してください。

② 団地・アパート等に居住している者は、棟番号、戸番まで必ず記入してください。下宿等の場合は、「○○○○方」などの肩書きを必ず記入してください。  
(現住所を大学入試センターの電子計算機に登録する際には「カタカナ・数字等記入」欄により行いますので、記入例に従い最後まで正しく記入してください。)

③ 試験場は、この「現住所」に基づいて指定するので注意し、記入してください。

### (2) 「別冊子の試験問題配付希望」欄の記入について(「ドイツ語」「フランス語」「工業数理」「簿記会計I・II」)

外国語、数学(B)の受験希望者で、「英語」、「数学II」の問題冊子のほかに、別冊子となっている「ドイツ語」又は「フランス語」、「工業数理」又は「簿記会計I・II」の問題冊子の配付を希望する場合は、必ずこれらの科目の文字を○で囲んでください。

(科目選択について25ページ参照)

記入しなかった場合は、「ドイツ語」「フランス語」「工業数理」又は「簿記会計I・II」の問題冊子が配付されませんので、十分注意してください。(なお、これらの問題冊子の配付を受けた場合でも、「英語」、「数学II」を選択解答することができます。)

### (3) 「受験希望教科・科目」欄の記入について

ア 志願票記入時点での受験希望の教科・科目の文字を○で囲んでください。(「ドイツ語」「フランス語」「工業数理」「簿記会計I・II」を除く。)

(科目選択について25ページ参照)

イ この欄は、主として大学入試センターにおける試験場設定等に関する業務上の基礎資料を作成するために記入していただくものです。したがって、志願者の試験当日における受験教科・科目の選択を拘束するものではありません。

(4) 志願票の記入例

志願票の記入方法

10月27日以降の消印で郵送されたものは受理しないので注意してください。

**平成3年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票 [提出用]**

① 高等学校等コード  
(「高等学校等コード表」により記入)

② 身体障害者受験特別措置  
希望

③ 整理番号  
(高等学校単位に一連番号を右につめて記入)

④ 受験教科数  
2教科以下受験

⑤ カタカナ記入(姓と名の間は1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。)  
アオハ カオル

⑥ 漢字等記入(かい書で丁寧に記入すること。)  
青葉 喜

⑦ 性別  
男 1 女 2

⑧ 生年月日  
年号 年月日  
M T S 昭和  
平成 46 07 06

⑨ 連絡電話番号  
(自宅、下宿、寮等) 0425-465-8600

⑩ 課程  
全 日 制 定 時 制 通 信 科

⑪ 学科  
1 普通科 2 理科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 外国語科 7 1外國の学校等 8 在外教育施設 9 文部省大臣指定大臣の者 10 卒業見込 11 卒業した年 12 卒業した年 13 卒業した年 14 高等学校卒業者以外

⑫ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

⑬ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

⑭ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

⑮ (郵便番号) (都道府県名) (市町村名) (都・市名)  
190-11 東京都 西多摩郡

現住所  
羽村町栄6丁目19-23 青葉マンション3号室 山田三郎方

⑯ 都道府県名  
カタカナ  
数字等記入  
トウキョウト ニシタマグン ハムラマチ サカエ 6チョウメ 19-23 アオハ マンション 3コウウシツ ヤマタノサブロウカタ

別冊子の試験問題配付希望  
⑰ 数学 ⑱ 外国語  
1 2 1 2  
176 177

受験希望教科・科目  
⑲ ⑳ 社会 ㉑ 数学 ㉒ 理科 ㉓ 外国語  
国語 倫政・経済 日本史 世界史 地理 現代社会 数学I 数学II 物理 化学 生物 英語  
1 1 2 3 4 5 1 1 1 2 1 2 1 1  
178 179 180 181 182 183 184 185

この4科目については、別冊子の試験問題配付希望の場合だけ、その科目の文字を○で囲んでください。

平成3年度大学入学者選抜大学入試センター試験 志願票控

10月27日以降の消印で郵送されたものは受理しないので注意してください。

① 高等学校等コード  
(「高等学校等コード表」により記入)

② 身体障害者受験特別措置  
希望

③ 整理番号  
(高等学校単位に一連番号を右につめて記入)

④ 受験教科数  
1 2教科以下受験  
13

⑤ カタカナ記入(姓と名の間は1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。)  
氏名

⑥ 漢字等記入(かい書で丁寧に記入すること。)  
性別  
男 1 女 2

⑦ 生年月日  
年号 年月日  
M T S 昭和  
明治 52 53 54 55 56 57 58 59

⑧ 連絡電話番号  
(自宅、下宿、寮等)

出願資格  
高等学校卒業者(卒業見込者を含む。) 高等学校卒業者以外

⑩ 課程  
全 日 制 定 時 制 通 信 科

⑪ 学科  
1 普通科 2 理科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 外国語科 7 1外國の学校等 8 在外教育施設 9 文部省大臣指定大臣の者 10 卒業見込 11 卒業した年 12 卒業した年 13 卒業した年 14 高等学校卒業者以外

⑫ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

⑬ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

⑭ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

⑮ (郵便番号) (都道府県名) (郡・市名)  
漢字等記入  
現住所  
羽村町栄6丁目19-23 青葉マンション3号室 山田三郎方

⑯ 都道府県名  
カタカナ  
数字等記入  
トウキョウト ニシタマグン ハムラマチ サカエ 6チョウメ 19-23 アオハ マンション 3コウウシツ ヤマタノサブロウカタ

別冊子の試験問題配付希望  
⑰ 数学 ⑱ 外国語  
1 2 1 2  
176 177

受験希望教科・科目  
⑲ ⑳ 社会 ㉑ 数学 ㉒ 理科 ㉓ 外国語  
国語 倫政・経済 日本史 世界史 地理 現代社会 数学I 数学II 物理 化学 生物 英語  
1 1 2 3 4 5 1 1 1 2 1 2 1 1  
178 179 180 181 182 183 184 185

(注) 記入に当たっては、10、11ページの記入上の注意、12ページの志願票の記入例を参照してください。

## 5 出願期間と出願方法等

### (1) 出願期間

平成2年10月15日(月)～10月26日(金)(10月26日消印有効)

(10月27日以降の消印のものは、いかなる理由があっても受理しません。)

### (2) 出願方法

区分	出願書類	提出方法
高等学校等卒業見込 者(通信制課程を含む。)	志願票 <p>〔検定料「納付書・領収証書」を裏面の所定欄に はり付けること。〕</p>	入学志願者は、左記の志願票を在学している高等学校等に提出すること。 (高等学校経由出願)
高等学校卒業者等	① 志願票 <p>〔検定料「納付書・領収証書」を裏面の所定欄に はり付けること。 ・現住所は、正確に記入すること。〕</p> ② 出願資格を証明する書類 <p>卒業証明書が出身高等 学校の封筒に入っている ものは、封筒から出して (「開封無効」と表示のある ものを除く。)添付すること。</p>	入学志願者は、左記の志願票と証明書類を取りそろえて、この受験案内に添付してある封筒を使用して、必ず書留便で郵送すること。 (個人直接出願)

### (3) 出願に当たっての留意事項

ア 大学入試センター試験では、受験する教科数によって検定料の納付金額が異なります。  
(検定料の納付方法7ページ参照)

イ 出願が受理された後は、受験教科数を変更することができないので、十分留意して出願してください。(3教科以上の受験として出願した者が、試験当日に2教科以下を受験することは差し支えありません。)  
(出題教科・科目等24～25ページ参照)

ウ 出願方法について疑問がある場合は、なるべく早く大学入試センターに照会してください。  
(照会先33ページ参照)

### (4) 出願後の留意事項

ア 志願票を提出した後、氏名、現住所(志願票に現住所を記入した者だけ)、連絡電話番号に変更があった場合は、「はがき」に次の事項を明記し、速達郵便で平成3年1月11日(金)(大学入試センター試験前日)までに届け出てください。

(届出先33ページ参照)

- ① 変更したもの的新・旧がわかるように明記する。
- ② 氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校名(高等学校出身者以外は出願資格)

イ 志願票が受理された後に現住所を変更した場合は、既に試験場が指定されているため、試験場の変更は、認められません。

ウ 受験票到着後に氏名を変更した場合は、受験票等の再発行が必要となります。  
必要な手続を取ってください。  
(受験票等の再発行18ページ参照)

## II 志願票が受理されたら

### 2 受験票・写真票・成績請求票

① 事務主の志願票は発送に係る旨記入した上、(受験票)「(志願票)」(受験票)を提出する。  
② 大学入試センターは受験票等の提出と同時に、(受験票)を提出する。

※「受験票」について、12月中前まで、大学入試センターに提出して下さい。

## II 志願票が受理されたら

志願票提出後、受験票等の提出と同時に、(受験票)を提出する。

高橋洋一  
香川県立農業高等学校

(受験票)

1 確認はがき

高橋洋一  
(受験票)

### 2 受験票・写真票・成績請求票

① 受験票等の再発行について  
② 試験等の受験料の支拂い

(受験票等の再発行) 12月21日(金)までに、(受験票等)提出時に提出して下さい。

(受験料の支拂い) 12月21日(金)までに、(受験票等)提出時に提出して下さい。

(受験票等の再発行) 12月21日(金)までに、(受験票等)提出時に提出して下さい。

(受験料の支拂い) 12月21日(金)までに、(受験票等)提出時に提出して下さい。

#### ① 受験票・写真票・成績請求票の受領後の取扱い

② 受験票等の再発行の手続

③ 成績請求票の種類

④ 試験料の支拂い

⑤ 試験料の支拂い

### 5 応募期間と出願方法等

提出方法:(1) 人情書式(郵便局)、(2) 電子式(3) 請願書式

提出期限:10月1日(月)~10月26日(金) (10月26日午後1時00分まで有効)

提出箇所:(1) 請願書式による提出: 漢のものとおこなう変更 (①)、  
オーロ希望大学、(2) 電子式による提出:(②) 漢文題(③)

(請願書式提出は、提出出願半導体)(漢文題)

#### 3 出願方法

あるアオリ支拂いを確認する際、(合意式)変更を請け受けた場合は、(出願票)提出をめぐれ、(変更の確認用)

支拂いを記入する。受験票等の提出は、(合意式)変更を請け受けた場合は、(出願票)提出をめぐれ、(変更の確認用)を裏面の所定欄で(合意式)提出すること。

##### ① 志願票

検定料「納付書・請收  
証書」を裏面の所定欄  
にはり付けること。

・現住所は、正確に記入  
すること。

##### 3. 志願票提出者等

② 出願資格を説明する書類  
卒業証明書が出身高等  
学校の所定欄に入っている  
ものは、封筒から出して  
(開封無効)と表示のあ  
るもの(除く)を添付する  
こと。

入学志願者は、左記の志願票  
と証明書類を取りそろえて、その  
受験案内に添付してある封筒  
を使用して、必ず書留便で郵送  
すること。

(個人窓口提出)

#### ③ 出願に当たっての留意事項

ア、大学入試センター試験では、受験する教科によって検定料の納付金額が異なりま  
す。(検定料の納付方法7ページ参照)

イ、出願が受理された後は、該教科の受験料を支拂うこととした者が、試験当日に2教科以上を  
受験してしまった場合は、該教科以上の受験料として料金した者が、試験当日に2教科以上を  
受験することは認められていません。(検定料、科目等24~25ページ参照)

ガラガラである場合は、(受験料の納付方法7ページ参照)

## 1 確認はがき

大学入試センターは、受理した志願票の記入事項を電子計算機に登録した後、その主要事項について、入学志願者に照合確認を求めるため、次表のとおり確認はがきを送付します。

区分	送付方法
高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	在学している高等学校等を経由して送付します。
高等学校卒業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)	本人に直接送付します。

確認はがきが到着したら、直ちに登録事項に誤りがないかどうかを確認し、次のとおり取り扱ってください。

区分	取扱い
登録内容に誤りがある場合	誤りがあった箇所を「赤」で修正し、「確認はがき」を封筒に入れて、速達郵便で、受領日を含めできる限り2日以内に返送してください。 (返送先33ページ参照) なお、修正した箇所について再度確認はがきは送付しません。
登録内容に誤りがない場合	手続きは必要ありません。

(注) 1 この確認はがきは、11月中旬までに送付するので、11月24日(土)までに不着の場合は、大学入試センターに電話で必ず届け出してください。  
(届出先33ページ参照)

2 氏名が、慣用の字体又はカタカナで表記されている場合は、登録の誤りではありませんので、修正し届け出る必要はありません。

## 2 受験票・写真票・成績請求票

### (1) 受験票等の送付

大学入試センターは、志願票の記入内容を確認した後、受験票・写真票・成績請求票を「受験上の注意」とともに、12月中旬までに、次表のとおり送付します。

区分	送付方法
高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	在学している高等学校等を経由して送付します。
高等学校卒業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)	本人に直接送付します。

(注) 受験票等が12月21日(金)までに不着の場合は、大学入試センターに再発行を申請してください。  
(届出先33ページ参照)  
(受験票等の再発行は18ページ参照)

### (2) 受験票・写真票・成績請求票の受領後の取扱い

ア 受験票と写真票は、大学入試センター試験当日、試験場に必ず持参しなければならないので、「受験上の注意」により十分確認の上、写真欄へ写真をはり付けるとともに自署欄へ志願者本人が氏名を記入しておいてください。

イ 成績請求票は、大学入試センター試験を利用する大学に出願する際に必要となるので、それまで紛失、汚損等しないよう大切に保管しておいてください。

(成績請求票の種類は20ページ参照)

(5) 成績請求票の大学入試センター試験利用大学への提出について

成績請求票は、大学入試センター試験を利用する大学に出願する際、当該大学の出願書類にはり付けて提出するものです。

成績請求票は5種類計8枚あり、それぞれの使用区分は次表のとおりです。

成績請求票の種類		枚数	使用区分(出願する大学)
A 前	平成3センター試験成績請求票 A日程・前期日程用	1枚	A日程又は前期日程で試験を実施する国公立大学・学部
B 後	平成3センター試験成績請求票 B日程・後期日程用	1枚	B日程又は後期日程で試験を実施する国公立大学・学部及び産業医科大学
C	平成3センター試験成績請求票 C日程群用	1枚	C日程群で試験を実施する公立大学・学部
2募	平成3センター試験成績請求票 第2次募集用	1枚	定員一部留保第2次募集又は欠員補充第2次募集を実施する国公立大学・学部
私	平成3センター試験成績請求票 私立大学用	4枚	大学入試センター試験を利用する私立大学・学部(産業医科大学を除く。)

(注) 各国公立大学への出願に当たって成績請求票を使用する場合、当該大学・学部の試験がいずれの試験実施日程(群)に属しているかを各大学の募集要項等により十分確認し、誤りのないように使用してください。

国公立大学及び産業医科大学に出願する場合は、「A日程の大学・学部と前期日程の大学・学部」への出願又は「B日程の大学・学部と後期日程の大学・学部」への出願はできないので注意すること。(例えば、A日程の大学・学部に出願する者は、B日程の大学・学部か後期日程の大学・学部とC日程群の大学・学部にしか出願できない。)

(6) 私立大学用成績請求票の追加発行

大学入試センター試験を利用する私立大学用成績請求票は、当初発行した4枚を超えて必要とする場合、希望枚数を追加発行するので、次の事項を明記し、速達郵便で申請してください。

(届出方法及び届出先33ページ参照)

- ① 私立大学用成績請求票の希望枚数
- ② 氏名(フリガナ)、現住所(フリガナ)、連絡電話番号、高等学校等コード、高等学校名(高等学校出身者以外の者は出願資格)

- 1 平成3年度大学入試センター試験実施日程
- 2 試験期日・試験時間・追試験
- 3 出題教科・科目等
- 4 試験場の指定
- 5 受験教科・科目成績の大学入試センター試験利用大学への提供方法
- 6 再試験の実施
- 7 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置
- 8 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等の受験特別措置
- 9 大学入試センター試験において、各選択科目間に著しい得点差が生じた場合の取扱い

### III あらかじめよく読んでおく

## 毎日実施試験日程表(大学入試センター試験)

(日) 平成3年度大学入試センター試験実施日程表

成績請求書は、各大学へ出願する場合に提出する際、当該大学の出願  
手続きにより提出する。提出用紙は、各大学へ出願する際に提出する。提出用紙は、各大学へ出願する際に提出する。

成績請求書の種類		枚数	使用区分(出願する大学)
A 日程	前期日程用	1枚	対応用紙の提出用紙
B 日程	後期日程用	1枚	対応用紙の提出用紙

平成3センター試験成績請求票 A 日程・後期日程用	1枚	B 日程又は後期日程で試験を実施する国公立大学・学部及び産業医科大学
平成3センター試験成績請求票 C 日程・群用	1枚	C 日程で試験を実施する公立大学・学部
平成3センター試験成績請求票 第2回次・基用	1枚	定員一部留保第2次募集又は欠員補完第2次募集を実施する国公立大学・学部
平成3センター試験成績請求票 大学用	4枚	大学入試センター試験を利用する私立大学・学部(産業医科大学を除く)

出願が大学への出願に当たって成績請求票を使用する場合、当該大学・学部の  
成績請求用紙の試験実施日程(群)に属しているかを各大学の募集要項等により十  
分確認し、誤りがないように使用してください。

個人登録料が産業医科大学に出願する場合は、「A 日程の大学・学部と前期日程の  
大学・学部」又は「B 日程の大学・学部と後期日程の大学・学部」への出願は  
できませんので注意すること。(例えば、A 日程の大学・学部に出願する者は、B 日程の  
大学・学部の前期日程の大学・学部と C 日程の大学・学部にしか出願できない。)

### III あらかじめよく読んでおく

#### (1) 試験実施日程時間

(土) 日 1月 6

試験時間

(日) 日 1月 7

試験時間

(日) 日 1月 8

試験時間

(金) 日 1月 9

試験時間

#### (2) 平成3年度大学入試センター試験実施日程

##### 2 試験期日・試験時間・追試験

##### 3 出題教科・科目等

##### 4 試験場の指定

##### 5 受験教科・科目成績の大学入試センター試験利用

##### 大学への提供方法

##### 6 再試験の実施

##### 7 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

##### 8 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等

##### の受験特別措置

##### 9 大学入試センター試験において、各選択科目間に

##### 著しい得点差が生じた場合の取扱い

(日) 日 1月 10

追試験実施日

(日) 日 1月 11

追試験実施日

(土) 日 1月 12

全国を2地区に分け、各地区の実施日

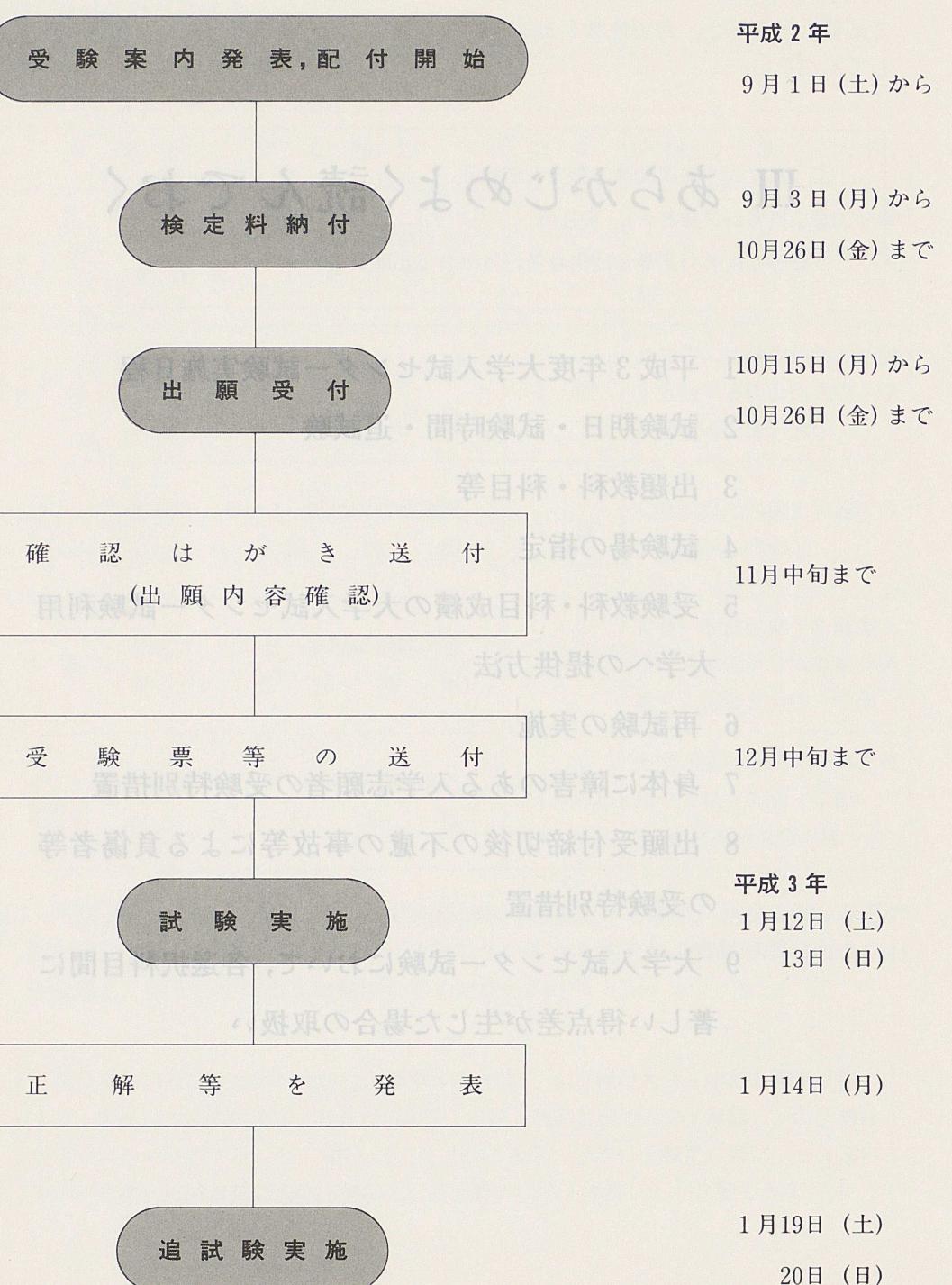
(日) 日 1月 13

追試験の実施場所

(日) 日 1月 14

受験料を退付する際同封する「受験上の注意」に明示する

## 1 平成3年度大学入試センター試験実施日程



## 2 試験期日・試験時間・追試験

### (1) 試験期日・試験時間

期日	試験教科・科目	試験時間
平成3年 1月12日(土)	外国語 「英語I・英語II」, 「ドイツ語」,「フランス語」	10:00~11:20
	数学(A) 「数学I」	12:50~13:50
	数学(B) 「数学II」, 「工業数理」,「簿記会計I・簿記会計II」	14:40~15:40
	理科(A) 「物理」,「地学」	16:30~17:30
1月13日(日)	理科(B) 「化学」,「理科I」	10:00~11:00
	国語 「国語I・国語II」	12:30~13:50
	社会 「倫理」,「政治・経済」,「日本史」,「世界史」, 「地理」,「現代社会」	14:40~15:40
	理科(C) 「生物」	16:30~17:30

(注) 第1日目と、第2日目の2时限目の試験開始時刻が異なりますので、十分注意してください。

### (2) 追試験の実施

追試験の対象者	① 疾病・負傷により試験を受験できない者 ② 試験場に向かう途中の事故により試験を受験できない者 ③ その他やむを得ない事由により試験を受験できない者
追試験実施期日 及び試験時間等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成3年1月19日(土), 20日(日)の2日間</li> <li>試験時間及び試験教科・科目等は、(1)のとおり。</li> </ul> <p>ただし、29ページの再試験をこの期日より後に実施する必要が生じた場合は、再試験と同一の期日に実施する。</p>
追試験の試験場	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国を2地区に分け、地区ごとに1か所設定</li> </ul> <p>追試験の試験場及び受験申請の方法については、受験票を送付する際同封する「受験上の注意」に明示する。</p>

### 3 出題教科・科目等

(1) 出題教科・科目等は、次表のとおりです。

教科	グループ	出題科目	試験時間(配点)	出題方法等	科目選択の方法等
国語		「国語Ⅰ」・「国語Ⅱ」	80分(200点)	「国語Ⅰ」・「国語Ⅱ」の範囲の近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。	
社会		「倫理」・「政治・経済」・「日本史」・「世界史」・「地理」・「現代社会」	60分(100点)		左記出題科目の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。
数学	A	「数学Ⅰ」	60分(100点)		
	B	「数学Ⅱ」・「工業数理」・「簿記会計Ⅰ」・「簿記会計Ⅱ」	60分(100点)	「数学Ⅱ」の電子計算機と流れ図は、出題範囲から除く。 「数学Ⅱ」については、「数学Ⅱ」を履修した者並びに「代数・幾何」、「基礎解析」及び「確率・統計」のうち2科目以上を履修した者のいずれにも対応した出題とする。 「簿記会計Ⅱ」は、前半の内容(①特殊な取引の記帳、②帳簿組織、③株式会社の記帳)を出題範囲とする。	左記出題科目の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「数学Ⅱ」のほか「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
理科	A	「物理」・「地学」	60分(100点)	「物理」、「地学」の出題には、「理科Ⅰ」に含まれるそれぞれの関連内容を含む。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	B	「化学」・「理科Ⅰ」	60分(100点)	「化学」の出題には、「理科Ⅰ」に含まれる関連内容を含む。	左記出題科目の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	C	「生物」	60分(100点)	「生物」の出題には、「理科Ⅰ」に含まれる関連内容を含む。	

外国語		「英語Ⅰ」・「英語Ⅱ」・「ドイツ語」・「フランス語」	80分(200点)	左記出題科目の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「英語」のほか「ドイツ語」又は「フランス語」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
-----	--	----------------------------	-----------	--

- (注) 1 「国語」の出題分野別の配点は、「近代以降の文章(2問100点)、古典(古文(1問50点)、漢文(1問50点))」とする。  
 2 「工業数理」の使用単位系は、国際単位系(SI)に統一する。  
 3 数学(A)及び数学(B)においても、他の教科・科目と同様に補助具(電卓、そろばん、グラフ用紙、定規等)の使用を認めない。

(2) 大学入試センター試験は、主として多肢選択による客観式の検査方法により出題し、解答はマーク方式によります。

(3) 3教科以上の受験として出願した者は、受験教科数の制限はありませんが、2教科以下の受験として出願した者は、2教科を超える科目選択はできませんので注意してください。(教科・科目の数え方9ページ参照)

(4) 出題科目及び科目選択の方法等は、上記の表のとおりであり、受験者は試験室において解答科目を選択し、解答することになります。  
 ただし、外国語、数学(B)の受験希望者で、「英語」、「数学Ⅱ」のほかに、別冊子となっている「ドイツ語」又は「フランス語」、「工業数理」又は「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告しなければなりません。申告をしなかった場合は、これらの科目を受験することができませんので注意してください。(申告の方法11ページ参照)

(注) 各大学においては、「現代社会」「理科Ⅰ」「工業数理」「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」等の科目について解答できる者に制限を設けている場合もありますので、各大学の募集要項等をよく読んで、教科・科目の選択を行ってください。  
 例えば、「現代社会」「理科Ⅰ」を選択解答できる者について、高等学校の「普通科」「理数科」の卒業(見込み)者以外の者に限るなどの制限を設けている大学もあります。

## 4 試験場の指定

- (1) 各入学志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする次ページの「試験地区区分表」に基づき、各公私立大学が設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布等を勘案し、指定します。
- (2) 大学入試センターが指定する試験場は、次表のとおり出願資格によって異なります。

出願資格	指定する試験場	備考
① 高等学校等卒業見込者 (通信制課程を除く。)	原則として在学する高等学校等が所在する試験地区内の試験場	「試験地区」は原則として都道府県を単位とする。 ただし、入学大(5)北海道、マサニギ、千葉県、神奈川県、大阪府、兵庫県、島根県、長崎県、鹿児島県、沖縄県。
② 高等学校卒業者等 (通信制課程卒業見込者を含む。)	原則として志願票に記入された現住所の試験地区内の試験場	にあっては次ページの「試験地区区分表」で定めるとおりとする。

- (3) 各入学志願者の試験場は、受験票に記載して通知します。
- (4) 指定された試験場以外での受験は認めません。
- (5) 出願後の現住所変更による、試験場の変更是認めません。

試験地区区分表（試験地区名）

北海道	石狩支庁地区	千葉県	島根県
〃	空知支庁地区	【埼玉県の一部を含む。】 柏市、我孫子市、東葛	【鹿足郡は山口県へ】 岡山県
〃	上川・宗谷・留萌支庁地区	飾郡沼南町、印旛郡印西町は茨城県へ	広島県
〃	後志支庁地区	流山市、浦安市は東京都へ	山口県
〃	檜山・渡島支庁地区	都へ	【島根県の一部を含む。】 島根県
〃	胆振・日高支庁地区	東京都 埼玉県、千葉県及び神奈川県	徳島県
〃	十勝支庁地区	奈良県の一部を含む。	香川県
〃	根室・釧路支庁地区	神奈川県 横浜市鶴見区・神奈川区・西区・中区・港北区・緑区・瀬谷区、川崎市、相模原市は東京都へ	愛媛県
〃	網走支庁地区	【長崎県の一部を含む。】 長崎県	高知県
青森県	森	横浜市鶴見区・神奈川区・西区・中区・港北区・緑区・瀬谷区、川崎市、相模原市は東京都へ	福岡県
岩手県	手	【長崎県の一部を含む。】 佐賀県	【壱岐郡、対馬支庁は福岡県へ】 長崎県
宮城県	城	新潟県 富山県 石川県 福井県 滋賀県	熊本県
秋田県	田	潟	大分県
山形県	形	山	宮崎県
福島県	島	川	鹿児島県
茨城県	城	井	【大島郡和泊町・知名町・与論町は沖縄県へ】 沖縄県
		山梨県 長野県 岐阜県 群馬県 埼玉県	那覇地区
		静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府	【那覇市、石川市、具志川市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、国頭郡、中頭郡、島尻郡】 鹿児島県
		大阪府 行田市、本庄市、深谷市は群馬県へ 春日部市、越谷市は千葉県へ 川口市、秩父市、所沢市、飯能市、東松山市、狭山市、草加市、入間市、和光市、新座市、上福岡市、坂戸市、入間郡、比企郡、秩父郡は東京都へ	【大阪府の一部を含む。】 大阪府 【枚方市、寝屋川市、交野市は京都府へ】 兵庫県 【城崎郡香住町、美方郡村岡町・浜坂町・美方町・温泉町は鳥取県へ】 奈良県 和歌山县 鳥取県 【兵庫県の一部を含む。】

## 5 受験教科・科目成績の大学入試センター試験利用 大学への提供方法

- (1) 大学入試センター試験を利用する各大学は、大学入試センター試験の出題教科・科目の中から、入学志願者に解答させる教科・科目及びその利用方法を定めています。各入学志願者は、志望する大学の募集要項等によって、これらを確認の上、受験してください。
- (2) 大学入試センターは、大学入試センター試験を利用する各大学からの請求に基づき、請求した大学が入学者選抜に利用すると指定している教科・科目のうち当該大学の入学志願者が受験しているすべての教科・科目の試験成績を、請求した各大学に対して提供します。
- なお、国語の特定分野を利用する大学へは、国語の分野別（「近代以降の文章」「古典（古文、漢文）」）の成績も提供します。
- (3) 大学入試センター試験利用大学の教科・科目の指定と、指定された教科・科目数を超えて受験した場合における成績提供及び各大学における成績の利用方法を例示するとして、次のとおりです。

志願者に対する大学の指定	大学入試センターから大学への成績の提供	利 用 方 法
「国語」、「社会」、「外国語」の3教科から1教科選択	当該大学を志願した受験者が「国語」、「社会」、「外国語」を受験していれば、この3教科の全部の成績	いずれの教科・科目が選抜に利用されるかについては、大学の募集要項等で確認してください。
物理、化学、生物の3科目から1科目選択	当該大学を志願した受験者が物理と化学を受験していれば、この2科目の成績	記入する際は、必ず「（高等学校等卒業見込者（通信制課程を除く。）は、 記入しないこと）」と記入してください。

### (4) 2教科以下の受験として出願した者の成績提供について

ア 2教科以下の受験として出願した者の成績提供についても、基本的には上記(1)～(3)のとおりです。

イ 2教科以下の受験として出願した者が、誤って3教科以上を受験していた場合は、受験した教科のうちから試験時間割順に二つまでの教科を、当該志願者の「受験した教科」として成績を提供します。

10月27日以降の消印の裏面には、検定料の納付書・領収証書のトナリ線の右側に記入する際は、必ず「（高等学校等卒業見込者（通信制課程を除く。）は、記入しないこと）」と記入してください。

平成3年度大学入学者選抜大学入試センター試験  
**志願票**  
〔提出用〕

① 高等学校等コード (「高等学校等コード表」により記入)		② 身体障害者 受験特別措置		③ 整理番号 (高等学校単位に一連番号を右につめて記入)	
2	1 2 3 4 5 6 7	1 希望	8	9 10 11 12	
出身学校名 高等学校		④ 受験教科数 1 2教科以下受験 13		⑤ カタカナ記入(姓と名の間は、1コマをあけ、濁点及び半濁点は1コマとする。)	
氏名 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31		⑥ 漢字等記入(かい書で丁寧に記入すること。)		⑦ 性別 男 1 女 2	
⑧ 生年月日 年号 年 月 日 M 明治 52 T 大正 53 S 昭和 54 55 56 57 58 59		⑨ 連絡電話番号 (自宅、下宿、寮等)		⑩ 課程 1全日制 2定期制 3通信制	
⑪ 学科 1普通科 2理数科 3農業科 4工業科 5商業科 6外の5学科 1卒業見込業 2卒業 (13)卒業した年		⑫ 卒業見込・卒業の別 75 76 77 78 79 80		⑬ 高等学校卒業者以外 1外国の学校等 2在外教育施設 3指定大臣たの者 4大学格入検定 5高専3年の修了他	
⑭ 現住所 漢字等記入 (区・町村名) (町・丁目・番地・団地・棟・号) 記入しないこと （高等学校等卒業見込者（通信制課程を除く。）は、 記入しないこと）		⑮ (郵便番号) (都道府県名) (郡・市名) □ □ □ - □ □ (方)		⑯ 都道府県名 郡・市・区 町・丁目・番地・団地・棟・号・方等 記入しないこと （高等学校等卒業見込者（通信制課程を除く。）は、 記入しないこと）	
⑰ 数学 工業数理 簿記会計 I II		⑱ 外国語 ドイツ語 フランス語 1 2		⑲ ⑳ 社会 国語 倫政治・経済 日本史 世界史 地理 現代社会 数学 I 数学 II 1 1 176 177	
⑳ ㉑ 数学 数学 I 数学 II 1 1 178		㉒ 理科 物理 地学 化学生物 理科 I 物理 1 2 180 181 182 183 184 185		㉓ 外国語 英語 1 1 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200	

別冊子の試験問題配付希望

受験希望教科・科目

(注) 記入に当たっては、10, 11ページの記入上の注意、12ページの志願票の記入例を参照してください。

※ 檢定料の「納付書・領収証書」のはり付け欄

納付書・領収証書（領収日付印のあるもの）の裏面（全面）に「のり」をつけて、はがれないようにはり付けてください。

見本〔記入例〕

検定料納付方法は  
7ページ参照

（注意）検定料を納付せずに出願しても、受理しません。

納付書・領収証書		国庫金	
		平成2年度	国立学校特別会計(024) 文部省所管
取扱序名 大学入試センター (55300)		授業料及入学検定料 授業料及入学板定料 入学科及検定料	
納付金額	¥ 1 2 0 0 0	上記の金額を 領取しました。 (領取日付印)	
納付目的	大学入試センター試験検定料 (3教科以上受験用)		
納付期限	平成2年10月26日限り		
納付場所	日本銀行本店、支店、代理店 又は窓口代理店 郵便局		
氏名	青葉 喜、 アオバ カオル		
※ 高等学校等コード	/ 3 2 8 3 H		
注意 1.納付金額を納付するときは、※印のところを押すよう記入し、納付場所に納付してください。 2.納付する高等学校等コード表により記入して下さい。 3.納付したときは、必ず領収書を受け取って下さい。			
◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。			

（注）受験する教科数によって検定料の納付金額が異なります。

- 3教科以上を受験する場合は、3教科以上受験用（納付金額12,000円）の「納付書・領収証書」をはり付けてください。
- 2教科以下を受験する場合は、2教科以下受験用（納付金額 8,000円）の「納付書・領収証書」をはり付けてください。

出願が受理された後は、受験教科数を変更することができないので十分注意してください。

## 6 再試験の実施

（1）再試験は、雪・地震等による災害その他の事情により、本試験が所定の期日に実施できないか又は完了しなかった場合に実施します。

（2）再試験の実施期日は、平成3年1月19日（土）、20日（日）とし、当日の実施が不可能な場合は、この期日より後にできるだけ速やかに実施します。

## 7 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

### (1) 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

ア 大学入試センター試験では、次表に掲げる「身体に障害のある入学志願者」のために、障害の種類・程度に応じ、点字による出題、マーク方式によらない解答の方法、試験時間の延長、特定試験室の設定等の特別措置（詳しくは「受験案内（別冊）」に掲載）を行うこととしています。

区分	身体障害の程度
盲者 <small>（強度の弱視者を含む。）</small>	1 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなると認められるもの
聾者 <small>（強度の難聴者を含む。）</small>	1 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの 2 両耳の聴力レベルが100デシベル未満60デシベル以上のもののうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することができない又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないもののうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者 <small>（身体虚弱者を含む。）</small>	1 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

（注）学校教育法施行令第22条の2の規定に準拠した。

イ 特別措置を希望する場合は、出願時に「身体障害者受験特別措置申請書」（「受験案内（別冊）」に折り込まれている。）等を提出してください。大学入試センターで審査の上、特別措置を決定します。

ウ 日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験される場合も、試験場設定や他の特別措置との関係から特別措置として申請していただくことになっていますので、ご注意ください。

なお、出願締切後に申請した場合は、申請内容によっては対応が直ちにできないものがあるため、特別措置が認められないことがありますので十分注意してください。

エ 特別措置を申請するには、「受験案内（別冊）」が必要となります。この「別冊」は、大学等では配付していませんので、次の要領により、できるだけ早く大学入試センターに請求してください。

請求方法	郵便はがき（表面に「受験案内（別冊）請求」と朱書）又は電話
請求先	〒153 東京都目黒区駒場2丁目19-23 大学入試センター事業第一課 問合せ専用電話 (03)465-8600 (平日 9時30分～17時、土曜日 9時30分～12時) ※平成3年1月1日から、「(03)3465-8600」に番号が変わります。
記載を要する事項	氏名（フリガナ）、現住所、連絡電話番号、在学（又は出身）学校名等

### (2) 志望大学との事前相談

身体の障害の種類・程度によっては、大学・学部等において受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、入学を志望する大学と連絡をとって、その大学へ出願する前に十分相談してください。

なお、大学入試センター試験の出願の際は必要ありません。

また、志望大学との相談の時期等については、当該大学の募集要項などで確かめてください。

## 8 出願受付締切後の不慮の事故等による負傷者等の受験特別措置

（1）出願受付締切後の不慮の事故等のため特別措置を希望する者にも、大学入試センターで審査の上、身体に障害のある入学志願者に準じた特別措置を行います。

（2）不慮の事故等のため特別措置を希望する場合は、速やかに本人又は代理人が「受験票」及び「医師の診断書」を持参の上、受験票の「問い合わせ大学」欄に記載された大学に行き申請してください。

なお、申請が試験開始の直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する特別措置が行えないこともあります。ご了承ください。

## 9 大学入試センター試験において、各選択科目間に著しい得点差が生じた場合の取扱い

(1) 試験の実施結果により各受験者の素点を調整すること（以下「得点調整」という。）は、原則として行いません。

ただし、大学入試センター試験の本試験の実施結果において、万一、「社会」と「理科」の各選択科目間（ただし、「現代社会」と「理科Ⅰ」については、対象としない。）に極端な素点の差（平均点で30点程度の差を目安とする。）が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、大学入試センターにおいて、大学入試センター試験を利用する大学関係者、学識経験者等を構成員とする組織の審議を経て、適切な得点調整を行うことがあります。

(2) 万一得点調整を行うこととなった場合には、平成3年1月20日までに、調整の対象となる選択科目名及びその科目の素点と調整後の得点の換算表等を新聞等を通じて発表します。

(3) 調整方式については、調整後の得点が受験者の学力を良く反映したものとなるよう、回帰得点の分布に基づく「等百分位点法」という方式を用います。

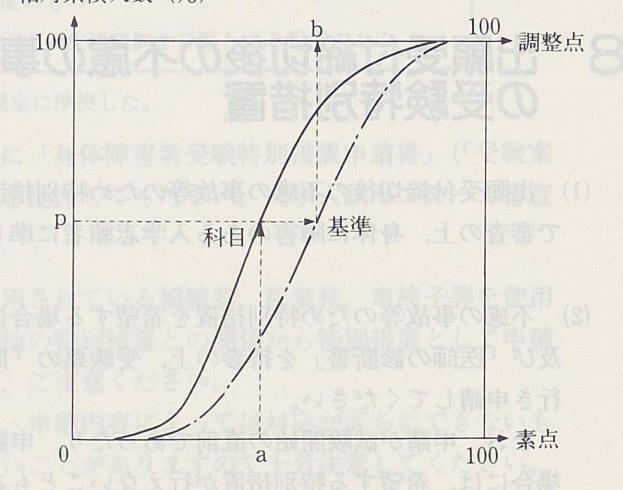
〔参考〕

回帰得点の分布に基づく「等百分位点法」について

対象とする教科の各科目について、科目素点の相対累積人数（科目百分位）を算定するとともに、他教科の得点も総合した基準点の相対累積人数（基準百分位）を算定し、科目素点をその（科目）百分位に最も近い（基準）百分位を持つ基準点に変換し、これを調整点とする方法である（右図）。

例えば、素点がa点以下の人数の割合がp%であり、基準点がb点以下の人数の割合も同じくp%である場合、素点a点を調整点b点に変換する。

蓄積された過去のデータとこれまでの研究成果を利用して、対象教科の得点と他教科の得点との間の関係の回帰分析に基づき基準点を算出すれば、受験者の学力を相当程度反映させることができるとともに、等百分位点法によって素点はそれぞれに相応しい基準点にきめ細かく変換できる。



## 等出題、答合問のホームページによる大学入試大

問合せ、届出等の窓口へも、ホームページによる問合せ、届出等の窓口へも、各教科の問題と解答が掲載されています。また、各教科の問題と解答が掲載されています。

### IV 大学入試センターへの問合せ、届出等

ページ照会	問合せ、届出等の窓口	由 来
8	問合せ、届出等の窓口	問題提出(提出)
12	問題提出(提出)	問題提出(提出)
16	問題提出(提出)	問題提出(提出)
20	問題提出(提出)	問題提出(提出)
24	問題提出(提出)	問題提出(提出)
28	問題提出(提出)	問題提出(提出)
32	問題提出(提出)	問題提出(提出)

問合せ、届出等の窓口  
http://www.eet.ac.jp/eet/outline.html  
TEL: 03-3462-8600  
FAX: 03-3462-8601  
E-mail: eet@eet.ac.jp

## V 参考資料

### 大学入試センターへの問合せ、届出等

次の①～⑥について、問い合わせ又は届出をする場合は、参照ページをよく読んで、間違いのないよう行ってください。

なお、平成3年1月1日から電話番号が変更になりますので、1月1日以降は新しい電話番号で照会してください。

事由	問合せ、届出方法	参照ページ	
① 出願資格(証明書類)及び志願票等記入方法の問合せ	下記問合せ先電話		
② 検定料「納付書・領収証書」	紛失 誤記入 又は未記入	下記問合せ先電話  速達郵便はがき ・はがきの表面に「納付書誤記入又は未記入届出」と朱書すること。	8
③ 出願後の氏名、現住所、連絡電話番号の変更届出		速達郵便はがき ・はがきの表面に「...変更届出」と朱書すること。	15
④ 確認はがき不着届出		下記問合せ先電話	16
⑤ 受験票等再発行申請		速達郵便(封筒) ・大学入試センター宛の封筒の表面に「受験票等再発行申請」と朱書すること。 ・返信用封筒(長形3号:縦23.5cm、横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、632円切手「書留・速達料金を含む。」をはる。)を同封すること。	18
⑥ 私立大学用成績請求票追加発行申請		速達郵便(封筒) ・大学入試センター宛の封筒の表面に「私立大学用成績請求票追加発行申請」と朱書すること。 ・返信用封筒(長形3号:縦23.5cm、横12cm、表面に現住所・氏名を記入し、632円切手「書留・速達料金を含む。」をはる。)を同封すること。	21

届出・申請先 ⇒ 大学入試センター事業第一課

〒153 東京都目黒区駒場2丁目19-23

問合せ先 ⇒ 電話 (03) 465-8600

平日9時30分から17時、土曜日9時30分から12時

\*平成3年1月1日以降は、電話 (03) 3465-8600

## 東京工業高等専門学校

## V 参考資料

### 1 高等学校等コード表

### 2 平成3年度大学入試センター試験利用大学入学者選抜実施日程

### 3 平成3年度大学入試センター試験利用大学一覧



















(2) 外国の学校等、在外教育施設、文部大臣の指定及び大学入学資格検定等

大 檢 51000 K	「大検」とは、大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部大臣が行う大学入学資格検定に合格した者及び平成3年3月31日までに合格見込みの者
外 国 52000 E	「外国」とは、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成3年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部大臣の指定したもの
指 定 53000 A	「指定」とは、文部大臣の指定した者
認 定 54000 F	「認定」とは、その他大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
在外指定 55000 A	「在外指定」とは、文部大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成3年3月31日までに修了見込みの者

## 2 平成3年度大学入試センター試験利用大学入学者選抜実施日程

(1) 国公立大学

平成2年	7月31日（火）まで
	12月15日（土）まで
平成3年	1月21日（月）まで
	1月22日（火）から
	1月31日（木）まで
	2月10日（日）まで
	2月25日（月）から
	3月2日（土）まで
	3月5日（火）以降
	3月8日（金）以降
	3月10日（日）まで
	3月12日（火）以降
	3月23日（土）まで
	3月18日（月）から
	3月23日（土）まで

- (注) ① 国立大学の試験実施期日については、例外の取り扱いも認められているので、各大学の募集要項等で確かめてください。  
 ② 公立大学の実施日程は、一部の公立大学においては上表と異なる場合があるので注意してください。  
 ③ 私立産業医科大学の実施日程は、国立大学とほぼ同じです。  
 ④ 2段階選抜（後期日程）の結果の発表期日については、大学によっては、上表と異なる場合があるので、各大学の募集要項等で確認してください。

(2) 私立大学

大学入試センター試験を利用する私立大学の学生募集要項等で確かめてください。

### 3 平成3年度大学入試センター試験利用大学一覧

電話番号欄に※印がついている大学の電話番号は、平成3年1月1日から今までの局番の前に「3」がつき4ケタになります。(例) (03)465-8600→(03)3465-8600

〔国立大学95大学〕(全大学・学部が利用)

大 学 名	所 在 地	電話番号(内線番号)
北海道大学	〒060 札幌市北区北8条西5丁目	(011)716-2111 3961~2
北海道教育大学	札幌分校 〒002 札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号	(011)778-8811 309・310
	函館分校 〒040 函館市八幡町1番2号	(0138)41-1121 218~220
	旭川分校 〒070 旭川市北門町9丁目	(0166)51-6151 220~222・256
	釧路分校 〒085 釧路市城山1丁目15番55号	(0154)41-6161 200・235
	岩見沢分校 〒068 岩見沢市緑が丘2丁目34番地の1	(0126)22-1470 226・227
	室蘭工業大学 〒050 室蘭市水元町27番1号	(0143)44-4181 2484
	小樽商科大学 〒047 小樽市緑3丁目5番21号	(0134)23-1101 535
	帯広畜産大学 〒080 帯広市稲田町西2線11番地	(0155)48-5111 445
	旭川医科大学 〒078 旭川市西神楽4線5号3-11	(0166)65-2111 2214
	北見工業大学 〒090 北見市公園町165番地	(0157)24-1010 247
弘前大学	〒036 弘前市文京町1	(0172)36-2111 2392~3
岩手大学	〒020 盛岡市上田3丁目18番8号	(0196)23-5171 2251
東北大	〒980 仙台市青葉区片平2丁目1番1号	(022)227-6200 3204~5
宮城教育大学	〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉	(022)222-1021 247
秋田大学	〒010 秋田市手形学園町1番1号	(0188)33-5261 256
山形大学	〒990 山形市小白川町1丁目4-12	(0236)31-1421 2095
福島大学	〒960-12 福島市松川町浅川字直道2番地	(0245)48-5151 2253~4
茨城大学	〒310 水戸市文京2丁目1番1号	(0292)26-1621 253~4
図書館情報大学	〒305 つくば市春日1-2	(0298)52-0511 236
筑波大学	つくば市天王台1丁目1番地の1	(0298)53-2208
宇都宮大学	〒321 宇都宮市峰町350番地	(0286)36-1515 621
群馬大学	前橋市荒牧町4丁目2番地	(0272)32-1611 321
埼玉大学	浦和市下大久保255	(048)852-2111 2186~7
千葉大学	〒260 千葉市弥生町1番33号	(0472)51-1111 2107
東京大学	文京区本郷7丁目3番1号	※(03)812-2111 2082~4
東京医科歯科大学	文京区湯島1丁目5番45号	※(03)813-6111 2255
東京外国语大学	北区西ヶ原4丁目51番21号	※(03)917-6111 315
東京学芸大学	小金井市貫井北町4丁目1-1	(0423)25-2111 2254・2268

大 学 名	所 在 地	電話番号(内線番号)
東京農工大学	〒183 府中市晴見町3丁目8-1	(0423)64-3311 539
東京藝術大学	〒110 台東区上野公園12-8	※(03)828-6111 267
東京工業大学	目黒区大岡山2丁目12番1号	※(03)726-1111 2066~7
東京船舶大学	江東区越中島2丁目1番6号	※(03)641-1171 265
東京水産大学	港区港南4丁目5番7号	※(03)471-1251 226
お茶の水女子大学	文京区大塚2丁目1番1号	※(03)943-3151 291~2
電気通信大学	調布市調布ヶ丘1丁目5番地1	(0424)83-2161 2544
一橋大学	国立市中2-1	(0425)72-1101 322~3
横浜国立大学	横浜市保土ヶ谷区常盤台156	(045)335-1451 2045・2345
新潟大学	新潟市五十嵐二の町8050番地	(025)262-6098 6079
長岡技術科学大学	長岡市上富岡町1603-1	(0258)46-6000 2179
上越教育大学	上越市山屋敷町1番地	(0255)22-2411 293~4
富山大学	富山市五福3190番地	(0764)41-1271 2497
富山医科大学	富山市杉谷2630番地	(0764)34-2281 2148~9
金沢大学	金沢市丸の内1番1号	(0762)62-4281 290
福井大学	福井市文京3丁目9番1号	(0776)23-0500 248
福井医科大学	福井県吉田郡松岡町下合月23-3	(0776)61-3111 2150
山梨大学	甲府市武田4丁目4-37	(0552)52-1111 2415
山梨医科大学	山梨県中巨摩郡玉穂町下河東1110番地	(0552)73-1111 2097
信州大学	松本市旭3丁目1番1号	(0263)35-4600 2274
岐阜大学	岐阜市柳戸1番1	(0582)30-1111 2352~3
静岡大学	静岡市大谷836	(0542)37-1111 2650~2
浜松医科大学	浜松市半田町3600番地	(0534)35-2205
名古屋大学	名古屋市千種区不老町	(052)781-5111 3672
愛知教育大学	刈谷市井ヶ谷町広沢1	(0566)36-3111 279
名古屋工業大学	名古屋市昭和区御器所町	(052)732-2111 2288
豊橋技術科学大学	豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘1-1	(0532)47-0111 333
三重大学	津市上浜町1515	(0592)32-1211 2183
滋賀大学	彦根市馬場1丁目1-1	(0749)22-5600 302
滋賀医科大学	大津市瀬田月輪町	(0775)48-2071
京都大学	京都市左京区吉田本町	(075)753-2521・2523
京都教育大学	京都市伏見区深草藤森町1	(075)641-9281 270~1
京都工芸繊維大学	京都市左京区松ヶ崎橋上町	(075)791-3211 255
大阪大学	吹田市山田丘1-1	(06)877-5111 2181~5・2187~8
大阪外国语大学	箕面市粟生間谷東8-1-1	(0727)28-3111 106



大学・学部名	所 在 地	電話番号(内線番号)
八戸大学 商学部	〒031 八戸市美保野13-98	(0178)25-2711 17
東北工業大学 工学部	〒982 仙台市太白区八木山香澄町35-1	(022)229-1151
足利工業大学 工学部	〒326 足利市大前町268-1	(0284)62-0605 302
白鷗大学 経営学部	〒323 小山市大行寺1117	(0285)22-1111
亜細亜大学 経営学部	〒180 東京都武蔵野市境5-24-10	(0422)54-3111 255~6
桜美林大学 文学部	〒194-02 町田市常盤町3758	(0427)97-2661 228~230
慶應義塾大学 法学部	〒108 港区三田2丁目15-45	※(03)453-4511
医学部	〒160 新宿区信濃町35	※(03)353-1211
昭和女子大学 文学部	〒154 世田谷区太子堂1-7	※(03)411-5111 333
東京工科大学 工学部	〒192 八王子市片倉町1404-1	(0426)37-2111
東京理科大学 基礎工学部	〒278 野田市山崎2641	(0471)24-1501
東邦大学 理学部 生物学科	〒274 船橋市三山2-2-1	(0474)72-1141 3122
日本歯科大学 歯学部	〒102 千代田区富士見1-9-20	※(03)261-8311
新潟歯学部	〒951 新潟市浜浦町1-8	(025)267-1500
武藏工業大学 工学部	〒158 世田谷区玉堤1-28-1	※(03)703-3111 229-608-224
新潟産業大学 経済学部	〒945-13 柏崎市大字軽井川4730	(0257)24-8436
福井工業大学 工学部	〒910 福井市学園3-6-1	(0776)22-8111 326
愛知工業大学 工学部 I 部	〒470-03 豊田市八草町八千草1247	(0565)48-8121 125
中京女子大学 家政学部	〒474 大府市横根町名高山55	(0562)46-1291
松阪大学 政治経済学部	〒515 松阪市久保町1846	(0598)29-1122
松蔭女子学院大学 文学部	〒657 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1	(078)882-6122
流通科学大学 商学部	〒673 神戸市西区学園西町3-1	(078)794-3555
産業医科大学 医学部	〒807 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1	(093)603-1611 2209

## 志望する大学の募集要項等で確認が必要なこと

- 志望大学が指定している大学入試センター試験の解答教科・科目  
(「現代社会」「理科I」「工業数理」「簿記会計I・II」等の科目を解答できる者を制限している場合があります。) (25, 28ページ参照)
- 志望大学における大学入試センター試験の成績の取扱い  
(大学が指定している教科・科目数を超えて受験した場合の取扱いを含む。) (28ページ参照)
- 志望大学の選抜実施日程 (53ページ参照)
- 志望大学へ出願する際に提出する「成績請求票」の種類等 (20ページ参照)
- 志望大学を受験する際の「大学入試センター試験受験票」の取扱い (19ページ参照)
- 身体に障害のある入学志願者の志望大学との事前相談の時期等 (31ページ参照)



非売品

大学入試センター

(「郵便物投函用紙」を保管してください。)

郵便局にて投函料金を支払う。

郵便局の窓口で郵便料金を支払う。

100-□□

切手 480 円  
をはり付け  
てください。  
(50 g まで)

東京都千代田区丸の内二丁目七番二号  
東京中央郵便局留置

大学入試センター  
事業第一課 行

書留

出願書類在中  
大学入試センター試験

書留引受番号

志願者	住 所	〒
	氏 名	
	出願資格 <small>(該当する資格を○で 囲んでください。)</small>	高校卒業・大検・外国・指定・認定・在外指定・高専3年

(高等学校等卒業見込者は、高等学校等を経由して出願することになっている)  
ので、この封筒を使用して個人で提出してはいけません。

次の書類が封入されているか確認の上、郵送してください。

平成3年度大学入試センター試験志願票・検定料納付済の「納付書・領収証書」  
(志願票の裏面の所定欄にはり付けてください。)

出願資格証明書類	高等学校卒業証明書 又は 高等学校以外の学校等の修了（見込み）証明書
	大学入学資格検定合格証書を複写（コピー）したもの又は合格証明書（大学入学資格検定合格者）又は 平成2年度大学入学資格検定受検票を複写（コピー）したもの等（大学入学資格検定合格見込みの者）
身体に障害のある志願者の提出書類	身体障害者受験特別措置申請書 及び 医師の診断書（詳細は受験案内（別冊）参照）

(注) この封筒は1名分のみとし、2名分以上を封入しないでください。

# 納付書・領収証書

## 国 庫 金

(納入者)	No.7004193					
※ 住 所 〒						
※ フリガナ						
氏 名	殿					
※ 高等学校等コード						
注意	1. 納付金額を納付するときは、※印のところを明りょうに記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。 2. 納付期限後に納付することはできません。 3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。					

平成 2 年度	国立学校特別会計(0254)		文部省所管		
取扱序名	大学入試センター (55300)				
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料			
納付金額	万	千	百	十	円
¥ 1 2	0	0	0	0	0
納付目的	大学入試センター試験検定料 (3教科以上受験用)				
納付期限	平成 2 年 10 月 26 日限り				
納付場所	日本銀行本店、支店、代理店 又は歳入代理店 郵便局				
上記の金額を 領収しました。 (領収日付印)					

◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。

## 領 収 控

## 国 庫 金

(納入者)	No7004193
* 住 所 〒	
* フリガナ	
氏 名	
* 高等学校等コード	[ ]

平成 2 年度	国立学校特別会計(0254)	文部省所管
取扱序名 大学入試センター (55300)		
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	¥ 1 2 0 0 0	円
納付目的	大学入試センター試験検定料 (3教科以上受験用)	
納付期限	平成 2 年 10 月 26 日限り	
上記の金額を 領収しました。 (領収日付印)		

# 領 収 済 通 知 書

国 庫 金

(納入者)	No.7004193						
※ 住 所 〒							
※ フリガナ							
氏 名							
※ 高等学校等コード							
あて先 郵便番号 153 所在地 東京都目黒区駒場2-19-23 所属庁名及び 歳入徴収官 大学入試センター管理部長							
取りまとめ 郵便局	〒152 東京都目黒区目黒本町1-15-16 目黒郵便局						
平成2年度		国立学校特別会計(0254)		文部省所管			
取扱庁名 大学入試センター (55300)							
授業料及入学検定料		授業料及入学検定料		入学料及検定料			
納付金額		万	千	百	十	円	
¥ 1 2		0	0	0	0	0	
納付目的 大学入試センター試験検定料 (3教科以上受験用)						上記の金額を 領収しました。 (領収日付印)	
納付期限 平成2年10月26日限り							

# 納付書・領収証書

## 国 庫 金

(納入者)

※ 住 所 〒

※ フリガナ

氏 名

殿

※ 高等学校等コード

注意

1. 納付金額を納付するときは、※印のところを明りょうに記入し、納付場所に納付して下さい。なお、高等学校等コードは、受験案内に記載されている高等学校等コード表により記入して下さい。
2. 納付期限後に納付することはできません。
3. 納付したときは、必ず領収証書を受け取って下さい。

◎ この納付書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付場所に提出して下さい。

平成2年度	国立学校特別会計(0254)	文部省所管
-------	----------------	-------

取扱序名	大学入試センター	(55300)
------	----------	---------

授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
-----------	-----------	---------

納付金額	¥ 8	千	百	十	円
	0	0	0	0	0

納付目的	大学入試センター試験検定料 <b>(2教科以下受験用)</b>	上記の金額を 領収しました。
------	------------------------------------	-------------------

納付期限	平成2年10月26日限り	(領収日付印)
------	--------------	---------

納付場所	日本銀行本店、支店、代理店 又は歳入代理店 郵便局
------	---------------------------------

## 領 収 控

## 国 庫 金

(納入者)

No 2004193

※ 住 所 〒

※ フリガナ

氏 名

※ 高等学校等コード

平成 2 年度	国立学校特別会計(0254)	文部省所管
取扱 序名 大学入試センター (55300)		
授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
納付金額	¥ 8	千 百 十 円 0 0 0
納付目的	上記の金額を (2教科以下受験用) 領収しました。	
納付期限	平成 2 年 10 月 26 日限り	

# 領 収 済 通 知 書

## 国 庫 金

(納入者)

No 2004193

\* 住 所 〒

\* フリガナ

氏 名

\* 高 等 学 校 等 コ ー ド

あて先 郵便番号 153  
所 在 地 東京都目黒区駒場2-19-23  
所属庁名及び  
歳入徴収官 大学入試センター管理部長

取りまとめ局 〒152 東京都目黒区目黒本町1-15-16 目黒郵便局

平成2年度	国立学校特別会計(0254)	文部省所管
-------	----------------	-------

取扱庁名	大学入試センター	(55300)
------	----------	---------

授業料及入学検定料	授業料及入学検定料	入学料及検定料
-----------	-----------	---------

納付金額	¥ 8	百	十	円
	0	0	0	0

納付目的 大学入試センター試験検定料  
(2教科以下受験用)

納付期限 平成2年10月26日限り

上記の金額を  
領収しました。

(領収日付印)